

事務事業名		予防接種障害年金給付事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業			
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	1 1 障がい者(児)支援の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款		
	基本事業名	0 4 福祉サービスの充実		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 4 年度～)		01	04		
根拠法令		予防接種法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		01	02		
所属	部課名	生活福祉部健康推進課		年度～年度		03	事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A~D以外)		
	課長名	佐藤 かおり		※全体計画欄の総投入量を記入					
	係名	母子保健係	電話	0192-27-1581					
	担当者	佐藤 章子	内線	-					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
予防接種による健康被害者に、国の制度に基づき救済措置額に沿って負担する。				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計(A)	0
								人件費	
						正規職員従事人数			
						延べ業務時間			
						人件費計(B)	0		
						トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
総支払額のうち、市負担額は1/4である。		ア	救済件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様、国の改正に合わせて負担する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
予防接種による健康被害者と認定された者。		名称	
		単位	
		カ	認定対象者数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
予防接種による健康被害を救済されることにより、安心した生活を送ることができる。		名称	
		単位	
		サ	救済率
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
自立して不安なく地域生活を送る。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	4,630	4,576	4,576	4,677	4,910
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,544	1,527	1,527	1,559	1,637
	事業費計(A)		千円	6,174	6,103	6,103	6,236	6,547
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	2	2	2
		延べ業務時間	時間	200	100	100	100	100
		人件費計(B)	千円	800	400	400	400	400
		トータルコスト(A)+(B)		千円	6,974	6,503	6,503	6,636
⑤ 活動指標		ア	1	1	1	1	1	
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	1	1	1	1	1	
		キ						
		ク						
⑦ 成果指標		サ	100	100	100	100	100	
		シ						
		ス						

事務事業ID	0299	事務事業名	予防接種障害年金給付事業
--------	------	-------	--------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 対象者が、国から予防接種に係る健康被害児と認定され、平成4年9月から救済措置が開始された。また、18歳になったことにより、平成19年7月から、予防接種障害児養育年金から予防接種障害年金給付に認定された。さらに、20歳になったことにより、平成21年7月から障害基礎年金が支給され、予防接種障害年金は減額(障害基礎年金の40/100の額)となった。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 障害年金給付等の社会情勢に合わせ、給付額は改定されている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 平成19年7月までは、重度心身障害者医療費助成制度を利用して住所地から医療費の自己負担分を支給されていたが、所得制限のため平成19年8月からは非該当となり、平成19年8月からの医療費の請求は、現在給付している対象者の父から、年1回の頻度で対応している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	安心が確保されたまちづくりの推進のもと、安心した生活を送るということに結びつくものである。		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	本来健康を保持するための予防接種を、国や自治体の責任のもとに実施した結果、健康被害を被ったことへの救済事業であるため税金の投入は妥当である。	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	公的関与は適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	あるべき水準との差異はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	⇒【理由】 ⇒【その内容】	⇒【理由】 ⇒【その内容】	⇒【理由】 ⇒【その内容】	予防接種法に基づく救済制度であり、廃止は影響が大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	法定の予防接種による被害者であるため、今後も国の指導に従う方向である。	
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	接種被害者の人権保護のため、正職員で行うことが妥当と判断する。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	⇒【理由】 ⇒【理由】	感染症予防のための予防接種は、公的な行為であることから、接種被害者に対して救済することは公平・公正と判断する。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 法定の予防接種による被害者であるため、今後も国の指導に従って救済事務を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	適切な事務執行がなされている。